

大空 —放哉だより—

第144号 2023.8.5

発行:小豆島尾崎放哉記念館 〒761-4106 土庄町本町甲 1082 ☎62-0037

● ● ● ● ● 俳句風鈴展 ● ● ● ● ●

自由律俳人・尾崎放哉は大正14年(1925年)8月20日、西光寺奥の院『南郷庵』に入庵しました。その日を記念し、風鈴を記念館敷地内に飾ります。風鈴は77個。小豆島で作った句の中から76句、学生時代に作った定型俳句を1句付けています。

放哉は自由律を始める前、学生時代から定型俳句を詠んでいました。その当時は俳号も『放哉』ではなく、『梅史』や『芳哉』などが使われています。今回はその中から1句を選びました。どの風鈴に定型俳句がついているのか!?ぜひ探してみてください。その当時の俳号も記載しています。

縁側で、俳句と風鈴の音色をお楽しみください♪♪～

※定型俳句は尾崎放哉全句集(筑摩書房/編・村上護)にも掲載されています。



【期 間】 令和5年8月8日(火)～9月3日(日)

【時 間】 終日 ※開館時間外でもご覧いただけます。

【場 所】 小豆島尾崎放哉記念館敷地内 ※天候により、変更する場合があります。

【問合せ】 小豆島尾崎放哉記念館 62-0037 (水曜日休館)



6月16日(金)、土庄小学校2年生約90名が記念館を訪れました。『迷路のまち』とその周辺を散策するという事で、迷路のまちボランティアガイドさんが案内されていました。3クラスがそれぞれのコース(エンジェルロードや土淵海峡など)を廻り、自分たちの暮らす地域について楽しく学んでいました。まだ俳句を習っていないので、これから少しでも興味を持ってもらえたらと思います。



休憩時間も兼ねていたため、ダンゴムシを触ったり井戸のポンプを一生懸命押ししてみたり。いつもは静かな記念館周辺に賑やかな声が響きました(*^_^*)

子(児)が連想される放哉句
 児に草履をはかせ秋空に放つ
 栗が落ちる音を見と聞いて居る夜
 松原児等を帰らせて暮れ居る
 児に木箱つくつてやる眼の前
 児をおぶってお嫁さんの顔見に出る
 たくさんある児がめいめいの本をよんでる
 お祭り赤ん坊寝てゐる
 草花たくさん咲いて児が留守番してゐる
 絵の書きたい児が遊びに来て居る
 赤ん坊のなきごゑがする小さい庭を掃いてる

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

●放哉だより発行日
 □記念館休館日 □資料館休館日
にゅうあんきねんび にゅうかんにりょうむりょう
 入庵記念日(20日)は入館料無料です。

